

# ちいきの大学



19号

## Contents

- 地域連携センターの主な活動
- 学校教育支援部門の活動
- 企業連携部門の活動
- SDGsへの取り組み
- 地域活性化部門の活動

愛知教育大学は教員養成に特化した広域拠点型教員養成大学として、広く社会と連携し、教育研究の成果を還元しながら社会の発展に貢献します。

**包括協定締結 5 市**

- 刈谷市
- 知立市
- 安城市
- みよし市
- 豊明市

**覚書締結 7 教育委員会**

- 刈谷市教育委員会
- 知立市教育委員会
- 豊明市教育委員会
- 豊田市教育委員会
- 碧南市教育委員会
- 高浜市教育委員会
- 幸田町教育委員会

**愛知県教育委員会 相互連携に関する協定締結**

**市町村教育委員会 相互連携に関する協定締結 44 教育委員会**

名古屋市・豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市・半田市・常滑市・東海市・大府市・知多市・阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町・設楽町・東栄町・豊根村・日進市・東郷町・西尾市・津島市・愛西市・弥富市・あま市・大治町・蟹江町・飛島村・春日井市・一宮市・瀬戸市・犬山市・江南市・岩倉市・大口町・扶桑町・稲沢市・小牧市・尾張旭市・清須市・北名古屋市・岡崎市・豊山町  
※協定締結順

**学校サポート活動の実施に関する協定締結 長久手市教育委員会**

**他の協定締結先**

- 豊田工業高等専門学校…… 包括的な連携に関する協定
- 愛知県総合教育センター…… 連携・協働
- 藤田医科大学…… 連携
- エヌ・ティ・ティ ラーニングシステムズ…… ICT教育の共同研究実施
- 中日新聞社…… 相互連携
- 中部電力…… 相互連携
- トヨタ車体株式会社…… 相互連携
- 名古屋市科学館…… 相互連携
- ソフトバンク株式会社…… 相互連携

など

## 地域とともにSDGsに取り組む

地域連携センター長 土屋 武志

かねて進めていた愛知県内の全ての教育委員会との連携に関する協定や覚書は、2021年度に完了し、今後、協定に基づく連携がますます進むことになりました。また、この一部は、包括的な協定であり、幅広い連携が可能です。「ちいきの大学」として、子どもの権利を大切にしたい住みよいまちづくりにも貢献します。それが、世界の目標であるSDGsの達成につながるよう、努力したいと思います。

## 地域連携センターの主な活動

### 愛知県ユネスコスクール指導者研修会

2021年10月16日(土)、名古屋市にあるウィルあいちにおいて、「愛知県ユネスコスクール指導者研修会」を開催しました。

本学は県内のユネスコスクールを支援する支援校として活動しており、本研修会はその活動の一環として、毎年開催しています。

昨年度に引き続き、愛知県教育委員会が開催する「愛知県ユネスコスクール交流会」と同日の同会場で時間を分け、オンライン参加と会場参加を併用するハイブリッド式で開催しました。



はじめに独立行政法人国際協力機構 JICA中部の江口由希子氏から、「JICAの教育協力～国内外の事例から～」と題して講演がありました。

講演会の実践発表は分科会方式で実施し、幼稚園と小学校の分科会では本学附属岡崎小学校、オンライン参加の学校法人釧路キリスト教学園 湖畔幼稚園と静岡県富士市立岩松北小学校より発表がありました。

別室では中学校と高等学校の分科会を行い、三重大学教育学部附属中学校、本学附属名古屋中学校、オンライン参加の長野県長野西高等学校から発表がありました。

研修会終了後は大鹿聖公地域連携センター副センター長と学生団体SAGAがアフターセッションを開催し、SDGsをわかりやすく理解していただける教材の紹介や資料の提供を行いました。



### 医教連携フォーラム2021

2021年12月25日(土)、刈谷市中央生涯学習センターにて「医教連携フォーラム2021」を開催しました。

医教連携を深めていくことを目的として連携協定を締結している藤田医科大学と共同主催で「医教連携によって開発した食物アレルギー等緊急時対応プログラムの実践ーそなえる&ふせぐ 安心な学校づくりー」をテーマに医教連携フォーラムを開催しました。当日は養護教諭等の現職教員を中心に17名の参加がありました。



前半は、本学養護教育講座の岡本陽准教授より実際に起こった誤食事故(インシデント)の事例分析を行い、学校におけるアレルギー対応体制について説明がありました。次に、藤田医科大学地域連携教育推進センター長の石原慎教授より、アナフィラキシーの症状等について実際の写真や音声による具体例を交えて説明がありました。後半は、座学では修得できない緊急時の対応について、人形と練習用注射器を用いて参加者全員が実際にシミュレーションを体験しました。

教育現場等での課題である食物アレルギーへの対応について、貴重な機会を提供することができ、今後につながる有意義なフォーラムとなりました。



## 公開講座

愛知教育大学では、教育研究の成果を広く社会に還元する目的で教員を対象とした免許法認定公開講座や教育委員会との共同開催で行う教員研修講座以外に、生涯学習の推進のため、一般の方を対象に近隣市教育委員会と連携して行う連携公開講座や、学内開催の講座を実施しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりほとんどの公開講座が中止になりましたが、令和3年度の公開講座は、感染症対策をとりながら開催し、多くの方に受講いただくことができました。令和4年度もたくさんの講座を開設する予定ですので、ぜひご参加ください。



### 2022(令和4)年度 愛知教育大学 一般対象公開講座 開設一覧

	講座番号	講座名	開催日
大学主催の公開講座	一般 (1)	世界の諸言語の多様性:文化多様性を学ぶために	6月25日(土)
	一般 (2)	街づくりから学ぶSDGs入門	6月26日(日)
	一般 (3)	レクリエーションで何人友だちできるかな?	7月9日(土)
	一般 (4)	演奏でたどる邦人作曲家による歌曲	7月16日(土)
	一般 (5)	真鍮でピンバッジを作ろう!	7月17日(日)
	一般 (6)	数学の散歩道	7月26日(火)
	一般 (7)	シャボン膜で曲面をつくろう!	7月27日(水)
	一般 (8)	Pythonによるプログラミング入門	7月30日(土)
	一般 (9)	「SDGs達成!」ガラスのリサイクル～廃棄ピンで工作～	7月30日(土)
	一般 (10)	水辺で自分の命は自分で守るための学習	7月30日(土)
	一般 (11)	3Dプリンター入門講座	7月30日(土)
	一般 (12)	高分子の化学	8月3日(水)
	一般 (13)	孟子の思想～「人の責任」としての性善説～	8月6日(土)
	一般 (14)	確率の始まり	8月6日(土)
	一般 (15)	英語らしく話してみよう	8月8日(月)
	一般 (16)	ICT支援員と学ぶプログラミング超入門 スクラッチ×ブロック	8月19日(金)
	一般 (17)	描いて!作って!鳴らして遊ぶ!!音・色・形によるアートの世界	8月27日(土)
	一般 (18)	「見える」コロナ対策の実験をしよう	8月27日(土)
	一般 (19)	イタリヤ、日本歌曲の歌い方の基礎を学ぶ	8月27日(土)
	一般 (20)	ポストコロナの家族とジェンダー	9月24日(土)
	一般 (21)	社会教育実践ゼミナール	10月5日(水)、3月1日(水)
	一般 (22)	親子で楽しくボール遊びを体験しよう	12月11日(日)
	一般 (23)	オープン粘土で干支づくり	12月24日(土)
	一般 (24)	理想的なシャボン膜を作ろう!	8月5日(金)
協定締結市との連携公開講座	一般 (25)	グローバルな貧困について考える	8月27日(土)
	一般 (26)	日常生活のはてな?～身の回りの科学技術のひみつ～	6月26日(日)
	一般 (27)	書道実技講座「古典臨書入門～蘭亭序を書く～」	8月7日(日)
	一般 (28)	ドイツの教育事情	7月16日(土)
	一般 (29)	暗黒な宇宙	10月8日(土)
	一般 (30)	直感とは違う!?不思議な確率の世界	7月30日(土)
	一般 (31)	インターネット社会をどう生きる?安全な情報コミュニケーション力を身につけよう	9月3日(土)
	一般 (32)	地層,岩石,化石から探る郷土の大地の成り立ちと特徴	8月27日(土)
	一般 (33)	増えてる?減ってる?あいちの両生類	10月8日(土)
	一般 (34)	かな書道入門～好きな言葉を色紙に書こう～	8月18日(木)
	一般 (35)	ミクロ生物の世界を覗いてみよう!	8月20日(土)
	一般 (36)	新史料からみる秦の統一時代	10月7日(金)
	一般 (37)	「親子で学ぼう!」デジタル化で変わる社会:世の中・仕事・お金について	5月21日(土)
一般 (37)	「親子で学ぼう!」水について学ぼう	6月4日(土)	

教員対象及び免許法認定公開講座も開講します。詳細は本学HP(下記URL)をご確認ください。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/lecture.html>

# 学校教育支援部門の活動

## 教育委員会との新規連携協定

本学は、2021年8月31日(火)に小牧市教育委員会と、2021年10月1日(金)に尾張旭市教育委員会及び清須市教育委員会と、2021年11月25日(木)に北名古屋市教育委員会と、2022年3月23日(水)に豊山町教育委員会と相互連携に関する協定を締結し、愛知県内すべての教育委員会と協定等の締結により連携することとなりました。

今後は、各教育委員会と相互に連携をすることで学校教育上の諸問題の解決と充実を図り、教員養成に特化した教育の総合大学として、さらに地域との連携を深めていきます。

## 近隣市等によるリレー講義

教育支援専門職養成課程教育ガバナンスコース2年生向け授業として後期に開講した講義「実践地方自治概論」(担当教員:本多正人教授、風岡治教授)において、昨年度に続き、地方自治の実践に関する特別講義を実施しました。

授業は、前半7回を座学で行って地方自治や政治の基礎を学び、その上で地方自治の実践家による特別講義を聞くという授業内容で計画されました。名古屋市の杉野みどり副市長、名古屋市事務局総務部主幹、安城市健幸=SDGs課長補佐がそれぞれ登壇され、各市の特色、取り組みなどのほか、学生に向けたメッセージを伝えてくださいました。

各市のご協力により学生の今後の学びにつながる大変貴重な機会となりました。



## 教員派遣・講師派遣

地域連携センターでは、講演会・研修会等の講師や研究会での指導・助言者、各種審議会等の委員など、地域からの相談や要請に合わせ、各種講師派遣を行っています。

詳しくは、本学HP(下記URL)をご参照ください。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/instructor.html>

## 高校訪問授業

高等学校と大学との連携の一つの形として、大学で実際に行われている講義・授業等を身近に体験することで、高校生の大学に対する理解を深め、進学意欲を高めることを目的に高校訪問授業を実施しています。

令和3年度は23校へ出向き、1,076名の高校生に大学の模擬授業を体験していただきました。

高校訪問授業の実施や申込等については、本学HP(下記URL)をご参照ください。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/sham.html>

## 岡崎市教育委員会との連携協定

2021年12月23日(木)、岡崎市役所にて、岡崎市教育委員会と相互連携に関する協定を締結しました。

岡崎市教育委員会とは平成31年3月に覚書を締結しており、今回はそれを相互連携協定まで高め、さらなる相互連携を深めることを目的としています。

締結式では、学長及び教育長による協定書への署名が行われ、署名後の懇談では、お互いの現状や今後の展望などについて共有しました。

学長からは、本協定をきっかけとして、岡崎市教育委員会が力を入れている教育の情報化はもちろんのこと、様々な分野で連携が高まることを期待しているなどと話があり、協定式を終えました。

本学が教員養成大学として培ってきた人材・知財と、岡崎市教育委員会が強みとしているICT教育の知識・経験を相互に活用することで、教育の未来の創造に努めて参ります。



愛教ちゃん



エディ

## — 企業連携部門の活動 —

### 中部電力株式会社との公開講座

2021年10月9日(土)、教員向け公開講座「私たちの暮らしと電気」を開催しました。

本講座では、土屋武志地域連携センター長、技術教育講座 本多満正教授に加え、中部電力株式会社から2名の講師を迎え、本学と中部電力が共同で開発した教材や出前講座をもとにテーマである「暮らしと電気」について考えました。

参加者からは「SDGsに関するゲームで楽しく電力の供給について学ぶことができた」「中部電力の方から直接話を聞くことができ、授業に活かせる内容が多かった」との感想が聞かれました。



### 教科書会社等との協定締結

2021年10月18日(月)に大日本図書株式会社と、11月15日(月)に東京書籍株式会社、日本文教出版株式会社、株式会社帝国書院、株式会社新興出版啓林館、教育出版株式会社、公益財団法人パナソニック教育財団、公益財団法人学習情報研究センター、2022年1月4日(火)にエプソン販売株式会社、2月25日(金)に光村図書出版株式会社と相互連携に関する協定を締結しました。

教科書会社との連携は、デジタル教科書の活用などICT教育の推進を、公益財団法人やエプソン販売株式会社との連携においては、デジタル機器を活用した教育情報化の推進を目的としています。今後は一層連携を深め、教育大学としてICT教育等の推進に力を入れて参ります。  
(2022年2月末現在)

## — 地域活性化部門の活動 —

### 地域への協力

地域連携センターでは、地域からの各種相談に協力しています。

2022年1月9日(日)には、井ヶ谷町内会の行事である「新春ウォーキング」のルートの一部として本学を開放しました。

本学は、井ヶ谷町民の方々の緊急時避難場所に指定されています。町民の方々からの、日頃から学内の構造や建物等を把握したいとの相談に応じ、ウォーキングルートに組み込む形で協力に至りました。

当日は、野田敦敬学長や土屋武志地域連携センター長、地域連携センター地域活性化部門 縄田亮太委員、学生団体「かきつばたの民」に所属する学生たちも参加し、地域の方々と交流しました。

### 四者協定に基づく連携事業

刈谷市、刈谷駅商店街振興組合、刈谷商工会議所と本学との四者協定事業の一環である子ども向け造形ワークショップでは、本学学生が講師を務め、ぶるぶる石鹸や動くカード作りなどの6講座を対面型で実施しました。新型コロナ感染拡大の影響で中止となった他4講座も、刈谷駅前商店街のYouTubeチャンネルにて指導動画を公開し、自宅でもアートを楽しむ機会を提供できました。また、刈谷駅近くでの学生たちの彫刻作品展示は例年通り開催でき、ナスの相撲取りなどユニークな作品達が街に彩りを添えました。



# SDGsへの取り組み

本学は地方創生SDGs官民連携プラットフォームに加盟し、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGs AICHI EXPO 2021への出展

2021年10月22日(金)、23日(土)にAichi Sky Expo(愛知県国際展示場)で開催された「SDGs AICHI EXPO 2021」に本学がブースを出展しました。

本学関係は、小・中学校、高校、大学などの未来の担い手である若者の出展エリアである「ユースエリア」に愛知教育大学と愛知教育大学附属高等学校サスティナ部の2つがブースを出展しました。

本学のブースでは、学生団体SAGA(サーガ)によって、小学生から大人まで幅広い世代の方々に分かりやすくSDGsを理解していただける教材の体験や各種資料の提供、本学で実施しているESD for 2030 AICHIプロジェクトなど、SDGs普及のためのさまざまな活動を紹介しました。また、附属高等学校サスティナ部では、高校生が自分たちの行うSDGs達成に向けた取り組みについて来場者に向けて発表を行いました。

さらに、愛知学長懇話会のブースにおいても、本学のSDGsに関する取り組みについてのポスター出展を行い、本学が取り組んでいるSDGsの活動について紹介しました。

多くの自治体や企業、団体の方が本学のブースにお越しいただき、本学の取り組みや学生の活動に興味を持っていただきました。今回のブース出展により、本学のSDGs普及活動を知っていただくと同時に、今後、地域との連携を広げていく大変よい機会となりました。



## かがやけ☆あいちサスティナ研究所への参加

2021年12月12日(日)、愛知大学 名古屋キャンパス グローバルコンベンションホールにて、かがやけ☆あいちサスティナ研究所成果発表会2021が開催されました。



本学からは「チームコマダ」と「チーム中京テレビ」に学生が参加し、企業から提示された環境課題に対する解決策を検討してきました。

「チームコマダ」では、「お客様がコマダでくつろぎながら、環境や社会に貢献できる商品やサービスを提案せよ」の課題に対して、「コマダで「脱プラ」ダ!」と題して、コマダだからこそできる、そしてお客様が無意識に環境に貢献できる企画、若者へのアプローチとして、「楽しい」「おしゃれ」といった要素を取り入れ、一人一人の意識改革と持続的な環境活動への参加を図る企画を提案しました。

「チーム中京テレビ」では、「SDGsをテーマに、視聴者に訴えかけるネットと連動したテレビ番組を企画せよ」の課題に対して、「学校生活をアニメ化し、すべての人にSDGsを～学校はSDGs17のゴールすべてとつながっている～」と題して、学校生活での実話をアニメ化したテレビ番組をネットと連動することで、誰もが主体的に参加でき、SDGsを身近に感じてもらえる番組の企画を提案しました。

成果発表会では、それぞれの課題解決発表が行われた後、審査員による厳正な審査の結果、団体参加部門で「チーム中京テレビ」が最優秀賞を受賞、個人参加部門で「チームコマダ」がグッドアイデア賞をそれぞれ受賞しました。



## 愛知学長懇話会 SDGsリレーシンポジウムの開催

2022年1月7日(金)、「愛知学長懇話会SDGsリレーシンポジウム」をオンラインで開催しました。

「愛知学長懇話会SDGsリレーシンポジウム」は、愛知県下の国公立大学の連携組織である愛知学長懇話会の主催で毎年開催されており、今回は本学を開催校として第12回目の開催となりました。愛知県内の大学生による9団体が参加し、様々な視点からSDGsに関する研究及び活動の発表を行いました。

本学からは「博学連携を通して校外学習を充実させるための教材開発の取組」と題して、愛知教育大学 Oh! Deer Labが、児童にSDGsを理解してもらうために取り組み始めたワークシート開発に関する発表を行い、教員養成大学である本学らしい発表内容で、優秀賞を受賞しました。

また、本学学生が参加している「かがやけ☆あいちサスティナ研究所 チーム中京テレビ」の発表は、視聴者から高評価を得てオーディエンス賞を受賞しました。

発表に対する質疑応答やフリーディスカッションを通じた学生同士の活発な交流も見られ、今後につながる有意義なシンポジウムとなりました。



## 「ESD for 2030」AICHIプロジェクト 公開フォーラムの開催

2022年2月19日(土)、文部科学省補助事業「SDGsの担い手育成(ESD)推進事業」の集大成として「ESD for 2030」AICHIプロジェクト 公開フォーラムを開催しました。当初は対面形式での開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの開催に変更いたしました。

本フォーラムは、2021年7月から6回にわたり実施してきた、ESD授業づくりのための研究会の成果発表の場として開催しました。

発表は「ESDを今後学校でどう進めていくのか」など、研究会に参加したことで各々の考えがどのように変わっていったのかがよくわかる内容となっており、研究会参加教員を含む40名以上の参加がありました。

本学の大鹿聖公 地域連携センター副センター長からは「この事業は単年度の計画ではなく、継続して行っていきたい」と今後の展望が語られました。

